

島前合宿 報告書

私は今回初めて島前合宿に参加しました。参加しようと思ったきっかけは友達にこの合宿の紹介をしてもらったことでした。祖父が隠岐の島（西ノ島）出身で「隠岐の島は海が世界一きれいなところだ。」と自慢げによく話していたこともあり、とてもはじめから興味がありました。しかし、正直最初はそのような気持ちで参加を決めたのですが、実際に企画に関わりはじめ、今まで知らない魅力に気が付きはじめました。そうして勉強していくと実際に行くとどんなまちなのか自分の目で確かめたいという思いが強くなり、今までとは違った視点で興味が湧いてきました。そのなかで島前高校について知り、ヒトツナギ部という島前高校でしか体験できない部活の存在に触れ、またその部員の考えをアンケートによって吸収し、島への愛情を確認することができました。そうして島への関心を高め合宿本番を迎えました。

初日、早速隠岐の島の大きなお祭りである「キンニャモニャ祭」があり、私たちは大学生チームとして他大学の学生さんと一緒にパレードに参加しました。創造よりもはるかに多くの方が参加していて、それぞれの衣装や、それぞれの踊りを披露し、賑わいを見せていました。私も練習してきた踊りを一時間踊り続け、私たち大学生チームはみごと島根県賞を勝ち取ることができました。外部からの学生も受け入れてくれる隠岐の島の優しさがとてもうれしかったです。私が住んでいる東京にはこんな風に地域全体でする大きなお祭りなんてないなとふと思いました。移動できる範囲内でお祭りはいくつか開催されてはいるけれど、まちの人みんなが来るお祭りはほとんどないし、こんなに地域での一体感を感じられるようなものではないと自分のまちを振り返ってしまいました。それだけこのキンニャモニャ祭が印象的でなによりも羨ましく感じられました。

二日目は島前高校ヒトツナギ部との交流会があり、船でやってくる高校生たちはどんな子なのだろうかと楽しみな気持ちと大学生としてのプライドを持ってアドバイスを高校生にしてあげられるか不安な気持ちの半々を持ってむかえました。ヒトツナギ部の多くが島外生であり、私の近所に住んでいる子の中にはいました。私が中学生のとき、島の高校に行くなんて発想はどこにもなく、この子たちは本当に決断力があり、自分のやりたいことや目標がはっきりしているなと思いました。それと同時に高校生の両親もきちんと島前高校のことを理解し安心して子供を預けられる環境が整っているのだと感じました。ヒトツナギ部について部員たちは今回のツアーに関してもいくつか反省点を抱え、そ

こをどう改善したらよくなるのか、地域のひとにヒトツナギはどう思われているのかヒトツナギ部について考えていると同時に私もいろいろな意見を聞いてとても勉強になりました。特にヒトツナギ部が島の人に頼りすぎという点については部員たちの事前アンケートにもよく書かれていたことであり、もちろん地域の人にとっても一番のポイントはそこにあるということでした。ヒトツナギ部が何をしたいのか、どうしたいのか、参加者にどう思ってもらえたら成功なのか目標を明確にし、そのためにツアーを組むという軸がぶれてしまっただけではツアーの意味は薄れてしまうし、ヒトツナギ部が本来伝えたかった島の魅力も引き出すことができなくなってしまうのです。大学生として私がどれだけアドバイスできたのか、高校生の胸に響くことを言えたのかどうかはわかりませんがヒトツナギ部について私も話し合いに加わって一緒に考えられたのはとても良い経験になりました。全体として話し合える時間の区切りもよく、ひとつひとつしっかりとテーマに沿って確認できたのでスケジュールは完璧だったと思います。個人の反省としてはまだまだヒトツナギについて理解が薄かったという点です。高校生の話をきいて初めて知ったことのほうが多く、もう少し理解を事前に深めていたらもっといい考えが浮かんだのではないかと思います。

観光では私は西ノ島の海水浴場へ出かけました。ちょうど台風の時期だったので遊覧船に乗る予定を急きょ変更し、天気が悪くならないうちにと海に行きました。やはり祖父が言っていたように隠岐の島の海は本当にきれいでした。青や緑とさまざまな色が混ざりあい絶妙なグラデーションでした。何よりもふつうの海水浴場とはちがいがあまり人がいないというのも良い点の一つであると思いました。時間がゆったりとしていてぼーっと過ごしてしまいました。すごく落ち着く環境をつくりだしていただきました。初めてきた場所なのになぜか懐かしい気分です。海を見続けていました。みんなで星を見に行くこともありました。東京の曇った空とは違い億千の星が輝き空も漆黒で心が優しくなった気になってしまいました。流れ星が何度も頭上を通りすぎ、願い事はできませんでしたが私は本当にあんなきれいな星空をながめたことはありません。隠岐の島は本当にどこを切り取っても絵になります。360度パノラマで高台に上ったときも直にきれいだなという言葉にすべての重みを込めて尽きてしまうほどでした。シャッターを何度きったかわかりません。ある意味ひみつにしておきたいような場所でした。

全体としての感想は、夜は自炊をし、はじめて過ごすメンバーでも協力して楽しめたということがなにより嬉しかったです。不安が大きかったですが、高校生とも上手くコミュニケーションをとることができ、とても視野が広がり、こんな素晴らしい企画や魅力があるのだと気が付くことができました。島の高校生が大学生に興味を持ってたくさん質問してくれてくれたこともとても嬉しか

ったし、大学のことを話すと、「私も大学生になったらもっと島のことを深く勉強できるようになるかな」と期待に胸をふくらませる姿も伺えました。それだけで私たち大学生がこの会議に参加した甲斐があったのだとも思いました。島民のつながりはとても深く、絆の強さを感じました。どこへ行っても必ず挨拶をしてくれるし、とても明るい人が多いなと思いました。ゆったりとしていて隠岐の島は本当に居心地の良いところです。さらにインターンなどにも力を入れ、島前高校のように新しい取り組みを行っているのはとても興味深く、これからどんどんその魅力が引き出されていくのだろうなと思いました。これから若い人がほしい地域、魅力化をはかりたい地域は隠岐の島をお手本に見習っていきべきだと感じました。私は隠岐の島に魅力をいくつか見つけました。しかしそれはきっと島民が知っている魅力のほんの少しの部分にすぎません。今はもっと知りたいと思うようになりました。それは隠岐の島に実際に足を運んでいろいろな方のお話をうかがえたからという点にもあります。ヒトツナギ部のツアーに参加してみたいなと本当に思います。いままで知らなかったのがもったいないくらいです。ヒトツナギに島出身のこどもが少ないというのが問題の一つにもなっていましたが、島のこどもたちが些細なことでもこれは島の魅力だ、強みだというものを一つでも見つけ大切に握っていて欲しいとおもいました。島の子にしかわからないことはたくさんあります。そしてそれがヒトツナギの今後の発展につながり最終的に島の発展につながっていくのだと思います。そしてそのさらにステップアップしたものをまた自分の目で見に行きたいと感じました。参加できて本当に良かったです。